

**2019年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第18回JAF鈴鹿グランプリ
FIA WTCR JVCKENWOOD Race of Japan**

WTCRを鈴鹿サーキット 東コースで開催

株式会社モビリティランドは、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて、10月25日(金)～27日(日)に、「2019年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第18回JAF鈴鹿グランプリ」と、開催2年目となるツーリングカーの世界戦「FIA ワールド・ツーリングカー・カップ (WTCR) JVCKENWOOD Race of Japan」を、「秋の4&4レース」として同時開催いたします。

このたび、WTCRの開催コースについて、FIAをはじめとする関係各所との協議を行い、鈴鹿サーキット 国際レーシングコース 東コース(1周 2.243km)にて開催することを決定いたしました。WTCRを東コースにて開催するのは初となり、前身のWTCC(世界ツーリングカー選手権)を含めると2013年以来となります。

週末に3レース開催されるWTCRは、東コースで開催されることにより、その魅力をより活かしたレースフォーマットとなり、接触含みの激しいバトルが、東コースの各コーナーで繰り広げられることが期待されます。

なお、同時開催されるスーパーフォーミュラについては、フルコースで開催いたします。

本レースのチケットは、公式オンラインショップ「Mobilitystation」などで発売中です。

株式会社モビリティランド 代表取締役社長 田中薫のコメント

「WTCRをスーパーフォーミュラとともに“4&4レース”と銘打って開催することから、昨年来、お客様によりお楽しみいただけるレースフォーマットを、FIAとユーロスポーツイベント、鈴鹿サーキットの3者で協議してまいりました。新たなコース設定をいただいたFIAに深く感謝いたします。この変更にあたっては、FIAの基準に準拠したウレタンバリアの撤去などを実施しますが、エンターテインメント性が高まることを目的に、規定に則っての開催に合意いたしました。

東コースでの開催により、WTCRの魅力である、時に接触をもいとわない接近戦が、同時にさまざまなコーナーで繰り広げられる様子を、まるでスタジアムでの観戦のようにお楽しみいただけることと思います。エキサイティングな週末に、どうぞご期待ください。」



2018年 WTCRレースシーン